

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院乳腺外科で乳癌の手術を受け、通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学外科学第一講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を再解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させていただく研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

組織培養法抗癌剤感受性試験を用いた乳癌手術検体における hormesis 現象の定量的測定のための観察研究

2. 研究責任者・研究分担者

責任者：和歌山県立医科大学外科学第一講座・准教授・吉増達也

分担者：和歌山県立医科大学外科学第一講座・学内助教・青石裕香

3. 研究の目的

一般に抗癌剤は接触濃度が上昇するにつれて増殖抑制が強くなると考えられていますが、実際は低濃度領域において逆に腫瘍増殖が促進される反応が存在します (hormesis 現象)。薬理的に一般的な事象として知られていますが、抗癌剤領域では正確な検討が行われていません。過去に当研究室では組織培養法抗癌剤感受性試験 (HDRA) を用いて乳癌手術検体の抗癌剤に対する量反応曲線を作成、検証しました。当時は hormesis 現象を考慮していませんでしたが、今回、その時に得たデータの再解析を行い、hormesis 現象の定量化とその特徴について検討しました。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2004 年 4 月から 2007 年 1 月に和歌山県立医科大学附属病院において、乳癌の手術を受け、さらに組織培養法抗癌剤感受性試験を行った方。

(2) 利用させていただく情報

この研究で利用させていただくデータは、年齢、性別、組織型、病期、サブタイプ、以前 HDRA を用いて得られた量反応曲線のデータです。

(3) 方法

Hormesis 現象が見られた群と見られなかった群での比較；年齢、性別、組織型、

病期，サブタイプ，各パラメータをします。

5. 個人情報の取り扱い

利用する情報からは，患者さんを特定できる個人情報は削除します。また，研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが，その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが，患者さんには，ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合，これを拒否する権利があります。その場合は，下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお，研究協力を拒否された場合でも，診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学外科学第一講座 担当医師 青石裕香

TEL: 073-447-2300 FAX: 073-446-4761

E-mail: surgery1@wakayama-med.ac.jp